

超耐候性多目的コーティング材

パイロキープ<sup>®</sup>TS2000

ポリバース

塗装仕様・施工要領書

平成29年2月作成

株式会社彩色工房

パイロキープ工法／耐久性、耐熱性、付着性、艶感に優れた塗料です（プロ仕様）

## 1. 使用材料

品名	成分	荷姿	用途
パイロキープ TS2000	チタン酸カリウム ウイスキー含有特 殊アクリル変成シ リコン	主剤／硬化剤＝7／3  10kg セット（主材：7kg/ 缶、硬化剤：3kg/缶）  4kg セット（主剤：2.8kg/ 缶、硬化剤：1.2kg/缶）  2kg セット（主剤：1.4kg/ 缶、硬化剤：0.6kg/缶）	下塗り・上塗材

メーカー 株式会社ビルドランド

○商品名 パイロキープTS2000（日塗工調色及びクリアー）

有機溶剤の種類 主剤・硬化剤：第4類第2石油類（キシレンを含む強溶剤）

規格 10kgセット・4kgセット・2kgセット

（株）彩色工房にてバスタブ用として1kgセット以下の荷姿にて小分け対応しております。但しこの場合、白及び彩色工房バス用標準色となります。

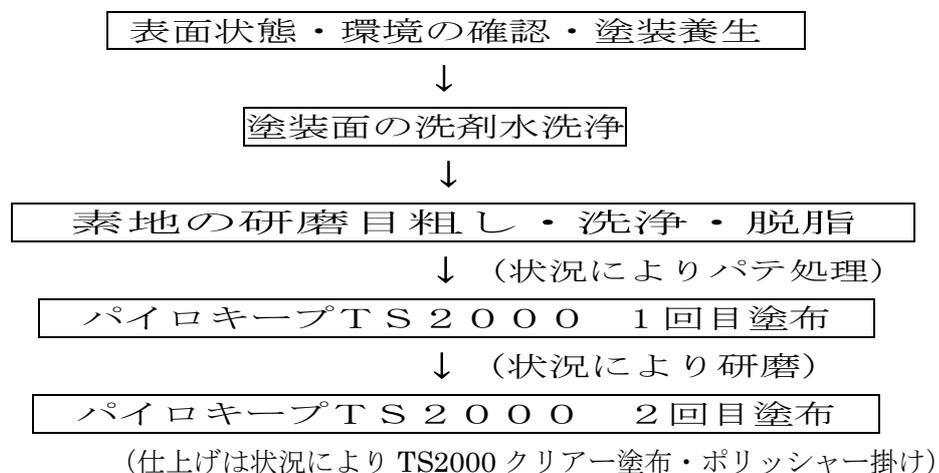
個別調色（日塗工合わせ）の場合は2kgセット以上の荷姿となります。

○商品名 パイロキープ専用シンナー（キシレンを含む強溶剤）

規格 15kg・4kg（ウレタンシンナーでの代用可能です）

○商品名 硬化促進剤 80g（寒冷期や硬化を急ぐ場合1～2%厳守で添加する）

## 2. 1. 施工順序（ポリバス）



## 2. 2. 施工方法

工 程	使用材料名	施工方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )
素地調整	洗浄・清掃・ケレン	<p>機械工具（ジスク、円盤型金属タワシ細め）・ #600～1000番粒度のジスクペーパー等 にて目粗する。</p> <p>手掛けの場合は#300～400番粒度使用に て隅々まで丁寧に目粗する。</p> <p>→強溶剤・アルコールの2度拭きにて十分に脱 脂清掃する。</p> <p>ウエスは必ず新しい物に交換して2度拭きして 下さい。</p> <p><b>※密着不良の多くの原因は脱脂不足にあります。</b></p>	———
下塗り	パイロキープ TS2000	パイロキープを規定の配合で小分け混合し、 刷毛・ローラー（ローラーはバスタブ塗装には 推奨出来ません）・スプレーガン等にて均一に塗 布する。	0.12～0.15 ×1回
上塗り	パイロキープ TS2000	パイロキープを規定の配合で小分け混合し、 刷毛・ローラー（ローラーはバスタブ塗装には 推奨出来ません）・スプレーガン等にて均一に塗 布する。	0.12～0.15 ×1回

## 3. 材料配合と施工仕様

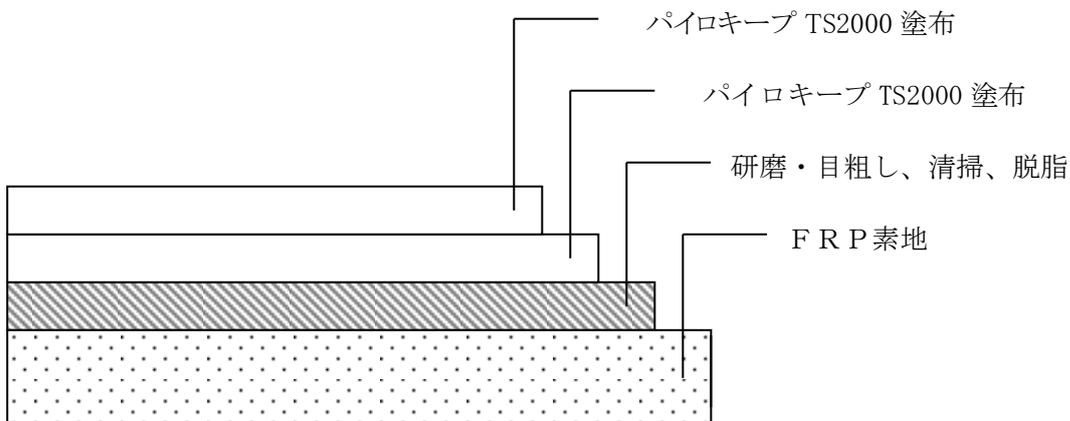
工程	使用材料	配合	標準塗装間隔 (20℃)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	溶剤希釈率 (%)
下塗り	パイロキープ TS2000	主剤：70部 硬化剤：30部 混合後の使用可能 時間は3時間 硬化促進剤使用 の場合は1時間以内	下塗り塗布後 標準6時間以上 7日以内	0.12～ 0.15 (標準)	5～20 (標準)
上塗り	パイロキープ TS2000	主剤：70部 硬化剤：30部 混合後の使用可能 時間は3時間 硬化促進剤使用 の場合は1時間以内	上塗り塗布後 最終養生48時間 以上	0.12～ 0.15 (標準)	5～20 (標準)

パイロキープは WET on WET 可能（1 回目の塗装が未硬化の上に塗装してもチジミは起こさない  
インターバルフリー）の塗料です。

基本は硬化後の塗り重ねですが、吹き付けでの増し塗り等での応用は可能です。

**乾燥養生 48 時間以上**

仕上げは必要に応じポリッシャーバフ仕上げ・TS2000 クリアー塗布  
(標準)



#### 4. 施工上の留意点

##### 4. 1. 施工前

施工前に素地調整層の表面状態および作業環境についてチェックする。

塗装方法に合わせた塗装養生を行う。

- ① 前処理、表面清掃が完全に行われ表面に汚れ・油脂等の付着が無い事を確認して下さい。  
(水かけ等によりハジキの無い事を確認する)
- ② 5℃以上の環境温度が確保されている事を確認して下さい。
- ③ 過湿状態での塗装 (85%以上) は避けて下さい (透明度・艶が減少する場合があります)
- ④ 溶剤系塗料やシンナーを使用します。密室作業ですのでミストの排気、防毒マスクの着用、十分な換気、火気厳禁等厳守願います。

##### 4. 2. 施工中

TS2000 の塗布

主剤と硬化剤の混和後 30 分程度で使い切れる量を混和して下さい。

使用残りの塗料への新たな塗料追加、硬化を始めた塗料へのシンナー追加は不可です。

シンナー希釈は、ダレることなく刷毛目の出にくい希釈量をコントロールして下さい。

(目安)

ローラー塗装	10%±5
刷毛塗装	10%±5
吹き付け	15%±5

刷毛を用いる場合は、(浴槽は塗装面積が少ない為、専門業者様、バスルーム吹き付け経験者様以外では手刷毛塗りを推奨しております) 手刷毛塗りは気泡の発生は少なく艶感も良いですが、シンナー調整や熟練の度合いにより刷毛目残りやダレには大きな差が出ます。丁寧な塗装を心掛けて下さい。ピンセットを用意し刷毛抜け毛、ゴミ等は速やかに取り除いてください。

塗料中の微細なゴミ・埃、研磨粉の残りカス、刷毛の埃等により硬化後にブツ肌になる場合が有ります。※1 回目の塗装でブツ肌の発生があった場合は、600～800 番程度のジスクペーパーで表面研磨、清掃→刷毛の変更・ろ過紙、綺麗なストッキングによる塗料ろ過 (塗料ろ過は専門業者様、板金塗装では一般に行われています) により仕上げ塗りではブツ肌の発生を防いで下さい。仕上げでブツ肌が発生した場合はコンパウンド使用でポリッシング仕上げして仕上げして下さい。刷毛は溶剤用ナイロン平刷毛 5～10cm (推奨) ナイロン刷毛はしなやかで抜け毛、埃が少ないです。役物周りの塗装用に目地刷毛もご用意下さい。

彩色工房ホームページの動画も参照願います。

<http://www.314ki.com/>

ローラー作業（細かな抜け毛の発生が多く特にバスタブ内には使用出来ません）

口径の小さく（スモール）毛足は中毛を使用する。（無泡ローラー等抜け毛の少ない物）

ピンセットを用意しローラー抜け毛、ゴミ等は速やかに取り除いてください。

ローラー施工の場合、作業スピードは速いですが、**ゆず肌・ブツ肌・抜け毛残りになり易い泡噛みし易い（シリコン含有量が多い為）** のでご注意下さい。

ローラーはバスルーム壁面・天井でネタ配りで使用したとしても泡潰しの為、平行して手刷毛を通す作業が必要となります。ローラーのみの作業は仕上がり精度が悪い為、不可です。  
必ず溶剤用ナイロン平刷毛5～10cm（推奨）もご用意下さい。

吹き付け作業は、熟練の施工者様は新品同様に仕上げられます。

但し密室での作業となりますので溶剤、ミストの排出管理、マスクによるミスト養生、塗装面へのミストかぶりの防止等、塗装環境の整備は大変となります。

よってバスルーム**塗装経験者様**以外にはお奨め出来ません。

チップは0.8mm程度のウレタン吹きに準じた物を使用します。

カップガンも使用可能ですが逆手使用が出来ない為、圧送タンク式スプレーガンが有利です。上塗り回数は標準2工程ですが、ダレ防止の為シンナーを飛ばしながらの薄塗り多回数での作業も可能です。（塗装間隔はインターバルフリー）

パイロキープは乾燥の遅い塗料につき低圧温風塗装機との相性は良いです。

各作業共、共通ですが、塗布後充分にレベリングし反面ダレないシンナー調整をして下さい。**硬化後、ざらつき・ブツの研磨・コンパウンド使用によるポリッシャーケレン・バフ掛け等を行う場合が多いです。仕上げ精度を上げます。**

混合後の使用可能時間 最大3時間（20℃）仕上げ肌は30分以内が綺麗です。

指触乾燥 6時間以上（20℃）

硬化 12時間以上でブツ肌等ペーパー等での研磨が可能となります。

塗り重ね時間（基本6時間以上）但し吹き付けの場合はインターバルフリー（ダレには注意）

実用硬化48時間以上

**※一般に寒冷期の塗装では硬化促進剤を使用します。（1～2%厳守で添加）**

厚付けとなった個所は表面の膜張り、中膿現象の為、長時間硬化しなくなります。

特に底板の入隅部等、塗料溜まりの無い様ご注意ねがいます。

塗装後バスルームを密閉するとシンナーこもりの為、乾燥時間が極端に長くなります。

窓を開ける。送風機で風を送る。等の工夫をして下さい。

塗り重ね時間は室温を上げると早くなります。

塗り重ね時間は風の通りが多いと早くなります。

塗り重ね時間は湿度が高いと遅くなります。

いずれの塗装方法も素地のケレンと十分な脱脂が最も重要なポイントとなります。

### その他注意点

- ガラス繊維の毛羽立ちが生じているものは塗装できません。→前処理が必要となります。ご相談下さい。
- 亀裂の生じているものは塗装できません。→前処理が必要となります。ご相談下さい。
- パテ使用の際は2剤型エポキシパテを使用。ポリパテは使用できません。  
ソーラー社のエポキシパテ#910ソフトを推奨しております。
- 塗料は開封前、混合前に十分に攪拌して下さい。混合後は1分程度十分に混ぜ合わせて下さい。
- 小分け後は速やかに蓋を閉めて下さい。特に硬化剤は湿気硬化しますのでご注意下さい。
- 刷毛・ローラーは使用硬化後に十分洗浄しても再使用出来ない場合が有ります。
- 溶剤型塗料につき換気には十分注意して下さい。ジェットヒーター等の火器に対しても十分注意して下さい。防毒マスクを使用しシンナー対策をして下さい。
- お風呂洗浄の際は中性洗剤を使用し、スポンジ等も塗膜を傷付けない物をご使用下さい。
- 入浴剤に硫黄系、唐辛子系等を使用した場合、変色や着色する場合があります。使用しないで下さい。

### ※ (バス施工特記事項)

バスの塗装改修は仕上がり精度が主観となります。又難易度の高い施工となり仕上げ精度が施工者の熟練度に左右される場合が多い為、弊社ではこれの苦情は受けかねます。

安全管理～塗膜責任まで施工者の自己責任にてお願いしておりますので宜しく願います。

但し、塗料に著しい欠陥がある場合に限り、購入代金を上限とし責任を負うものとします。

以上